

■事務局からのお知らせ

先週・今週のお知らせは特にありません。

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1.高田港湾局長が港湾政策の方向性語る。概算要求、サイバーポート等

高田昌行港湾局長は 8 月 19 日、専門紙を対象にした記者会見を開き、令和 3 年度予算概算要求に向けた考えや世界的なコロナウイルス感染症拡大を踏まえた取組み、防災・減災対策、サイバーポート、洋上風力、クルーズ関連施策の方向性等について語った。このうち令和 3 年度予算概算要求では、9 月末の締め切りとなった取組みを進めており、新型コロナウイルス感染症対策等の緊急的な予算は別枠での要望が予定されているほか、頻発化、激甚化する自然災害への対応も急ぐ。

またサイバーポート政策については、情報プラットフォームとなる「港湾関連データ連携基盤」のデータ等を活用して A I ターミナルの施策等を一体的に推進していく。

このほか洋上風力基地港湾では、洋上風力発電の拡大に向け、基地港湾の候補となる秋田港、能代港、鹿島港、北九州港の 4 港の施設整備をしっかりと進めていく、などと述べた。

2.国交省、インフラ分野の D X 推進へ。港湾建設、省人化・生産性向上

国土交通省は、新型コロナウイルス感染症拡大を契機とし、データやデジタル技術を活用して社会資本、また担い手となる建設業の働き方を変革する取組みを推進していく方針。港湾分野では、港湾関連データ連携基盤や、建設現場の省人化・生産性向上（非接触・リモートによる 3 D デジタル化）の推進に資する新技術等に関する施策を展開していく。

3.北九州港、響灘東洋上風力基地整備。来年度の現地着工へ準備

九州地方整備局北九州港湾・空港整備事務所は、北九州港響灘東地区における洋上風力基地港の整備に着手する。基地港に求められる洋上風車部材の搬入・仮組立・積み出しを可能とするための地耐力を強化したふ頭整備や岸壁改良などを行うことにしており、現在はこ

れら積み出し基地機能整備についての基本設計作業に入っている。

北九州港湾・空港整備事務所では今後、実施設計などの作業を行い年度内に工事を発注、翌債工事として来年度早期から現地着工していきたい考え。今年度新規事業として認められた響灘東地区国際物流ターミナル整備事業に沿って事業展開していく予定にしている。整備内容は暫定水深10㍍岸壁延長180㍍（地耐力強化）、泊地（水深10㍍）、航路・泊地（水深9㍍）、ふ頭用地4・9㍍。事業費は65億円（起債を除く港湾整備事業費49億円）、事業期間は令和5年度までを予定している。

【港湾空港タイムス 08月24日号から編集】

////////////////////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長：新谷 聡 りんかい日産建設（株）

部会員：山田 安彦 日本製鉄（株）

友歳 巖 五洋建設（株）

川田 延也 東京都

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：押田、清水、安田

URL: <http://www.rppc.jp/> E-mail: rppc_jimukyoku@wave.or.jp

////////////////////////////////////

■会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡ください。開催案内等の情報をメルマガで配信致します。

■メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡ください。

■メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡ください